

MAKE THE
WORLD SEE

Milestone Systems

XProtect® Access 2025 R2

ユーザーマニュアル



内容

著作権、商標、および免責条項	4
概要	5
オペレータ用のXProtect Access	5
入退室管理の設定	6
XProtect Smart Clientにおける入退室管理の設定	6
アクセスモニターをビューに追加	6
アクセスモニター設定の変更	6
アクセスモニター設定	6
入退室管理用のオーバーレイコマンドボタンを追加する	7
カードホルダー情報の管理	8
アクセスリクエスト通知を表示または非表示にする	8
入退室管理の使用	10
XProtect Smart Clientで入退室管理を使う	10
ライブモードでの入退室管理の使用	10
マップでドアのモニタリング	10
入退室管理イベントの調査	11
入退室管理イベントの検索とフィルター	11
イベントリストの使用	12
アクセスレポートのエクスポート	12
イベントリストのライブ更新モードの切り替え	13
ドアのステータスのモニターと制御	13
ドアリスト	14
カードホルダーの調査	14
アクセスリクエストの処理	15
アクセスリクエスト通知の操作	15
アクセス リクエスト通知の管理	15
アクセスリクエストへの対応	15
スマートマップで入退室管理を使用する	16
スマートマップに入退室管理ユニットを追加	16
スマートマップで入退室管理ユニットの情報を表示または非表示にする	17

スマートマップから入退室管理ユニットを削除	17
建物に入退室管理ユニットを追加	17
マップ移行ツールを用いたマップからスマートマップへの移行	18

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2025 Milestone Systems A/S

商標

XProtect は Milestone Systems A/S の登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。Android は Google Inc. の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

本マニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生するリスクはすべて、使用者が負うものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事柄も保証するものではありません。

Milestone Systems A/S は、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の規約が適用される可能性があるサードパーティー製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル`3rd_party_software_terms_and_conditions.txt`をご参照ください。

概要

オペレータ用のXProtect Access

XProtect AccessはXProtectの拡張機能です。その入退室管理システム専用のXProtectプラグインが存在する場合、組織は入退室管理システムをXProtectと統合できます。

この拡張機能を使用するには、以下のものを購入する必要があります。

- XProtect Accessと一緒に使用したいXProtectシステムごとに基本ライセンスが1つ必要です。
- XProtectを通じてコントロールしたいドアごとにドアライセンスが1つ必要です。

XProtect Accessには以下が含まれています。

- XProtect Smart Client内の入退室管理システムを操作するための共通ユーザーインターフェイス。
- 入退室管理システムの強力な統合。
- アクセスポイントでのイベントのライブ監視。
- オペレータ対応のアクセスリクエスト。
- マップとの統合。
- 入退室管理イベントのアラーム定義。
- アクセスポイントでのイベントの調査。
- ドアのステータスの一元化された概要とコントロール。
- カードホルダー情報と管理。

XProtect Smart Clientのユーザーがドアを開けたり入場を拒否したりするなどのアクセス関連のアクションを行うたびに、システムはそれを**監査ログ**に記録します。

入退室管理の設定

XProtect Smart Clientにおける入退室管理の設定

XProtect Accessでは、建物、セキュリティ保護された区域、およびその他の場所に対するアクセスリクエストをXProtect Smart Clientで直接モニターし、承認または拒否できます。

このセクションの情報は、次のことを説明します。

- ビューにアクセスモニタービューアイテムを追加し、関連するアクセスイベントを表示するように調整します。
- アクセスモニターの設定をカスタマイズして、運用のワークフローに最適化します。
- 他のビューアイテムにオーバーレイボタンを追加して、より多くの入退室管理アクションを実行します。
- 情報に基づいた意思決定のために、詳細なカードホルダーデータにアクセスし、レビューします。
- これらの設定を変更する必要がある場合は、アクセスリクエスト通知を表示および非表示にします。

アクセスモニターをビューに追加

XProtect Smart Clientで入退室管理機能を使用する場合は、アクセスモニターを設定します。アクセスモニターは、XProtect Smart Clientで入退室管理関連のアクションを有効にできるビューアイテムです。

1. アクセスモニタリングを使用したい場合は、設定モードで希望するビューを選択します。
2. **システム概要** ペインで、**[アクセスモニター]** をクリックし、ビューアイテムにドラッグします。
3. 表示される **アクセスモニター設定** ウィンドウで、設定を指定します。ドアを選択すると、デフォルト設定を保持するか、必要に応じて調整できます。
4. **[OK]** をクリックします。アクセスモニターがビューに追加されます。

イベントをトリガーする入退室管理インシデントが発生すると、ビューアイテムの右側にインシデントが表示されます。

アクセスモニター設定の変更

ライブモードでは、アクセスモニターの設定を変更できます。

1. **[セットアップ]** をクリックし、変更するアクセスモニタービューアイテムを選択します。
2. **プロパティ** ペインで、**アクセスモニター設定** ボタンをクリックします。
3. 表示される **アクセスモニター設定** ウィンドウで、ライブビューに戻るための設定を指定して保存します。

アクセスモニター設定

次のアクセスモニター設定を指定してください。

名前	説明
ドア	アクセスコントロールイベントを表示するドアを選択します。 ドアを選択すると、利用可能な設定が現在の値とともに表示されます。
ソース	イベントを受信するアクセスコントロールソースのタイプを選択します。ソースのリストには、ドアまたはドア固有のアクセスポイントなどを含めることができます。 <ul style="list-style-type: none">アクセスポイントは、カードリーダー、キーパッド、センサー、ボタンなどの関連付けられた物理装置が備えられた入口です。一般的に、ドアには、ドアからの入退出を制御する2つのアクセスポイントがあります。 システム管理者がソースのリストを設定します。
カメラ	ドアに関連付けられたビデオを表示するカメラを選択します。 デフォルトでは、XProtectはシステム管理者が選択したドアに関連付けたカメラを一覧表示しますが、XProtectシステムの別のカメラを選択することもできます。
イベント	受信したいイベントの種類を選びます。 XProtectシステム管理者が定義したイベントカテゴリ、または統合入退室管理システムで定義したイベントの一覧からイベントを選択できます。
コマンド	アクセスモニターで表示するコマンドボタンを選択し、ドアのロックとロック解除をします。 システム設定は、利用可能なコマンドのリストを定義します。
順序	イベントリストの上部または下部に新しいイベントを表示します。

入退室管理用のオーバーレイコマンドボタンを追加する

XProtect Smart Clientでは、オーバーレイボタンを使用してインターフェースをカスタマイズできます。

ドアやアクセスポイント用に設定したコマンドのリストから選択し、入退室管理用のオーバーレイコマンドボタンをビューアイテムに追加できます。ビューアイテムの上にマウスをドラッグすると、オーバーレイボタンが表示されます。

- ライブモードで、**設定**を選択してから、変更するビューアイテムを選択します。
- オーバーレイボタン**ペインで、**アクセスコントロール**をクリックします。
- 追加するコマンドを見つけ、ビューアイテムまでドラッグします。

4. **[設定]** をクリックし、ライブビデオの視聴に戻ります。



XProtect VMSを2024 R2以降にアップグレードすると、XProtect Smart Clientのビューに入退室管理用のオーバーレイボタンを手動で追加しなければならない場合があります。

オーバーレイボタンの使用例

- アクセスモニター以外のビューアイテムでコマンドボタンに直接アクセスできます。
- ビューアイテムのドアのそばに直接コマンドボタンを配置します。
- [アクセスモニター設定 on page 6](#)で指定したコマンドボタン以外のコマンドボタンを追加します。

カードホルダー情報の管理

統合入退室管理システムがこの機能をサポートするように設定されている場合、カードホルダーの記録を表示するWebページを開くことができます。そのページで、ユーザー設定の管理や追加のカードホルダーの詳細の表示などのタスクを実行します。

統合入退室管理システムがリンクをサポートする場合は、入退室管理システムで次の前提条件が適用されます。



- ウェブクライアントが必要です。
- リンクをサポートする必要があります。

カードホルダー情報を管理するには：

1. **入退室管理**タブで**カードホルダー**リストを選択します。
2. カードホルダーを検索し、リストから個人を選択します。
3. 右側のカードホルダー情報の下にあるリンクをクリックすると、Webページが開き、利用可能なカードホルダー情報が表示されます。統合入退室管理システムによっては、より多くのリンクがサポートされます。再度ユーザー名とパスワードを入力する必要がある場合もあります。
4. カードホルダー情報やアクセス権限などの詳細を編集できます。
5. Webページを閉じてXProtect Smart Clientに戻ります。

アクセスリクエスト通知を表示または非表示にする

例えば、1人だけでアクセスリクエストを処理する必要がある場合、XProtect Smart Clientでアクセスリクエスト通知を非表示にすることができます。

1. グローバルツールバーで **[設定とその他]** 、次に **[設定]** を選択します 。
または、アクセスリクエスト通知から **設定** アイコンを選択します。
2. **[入退室管理]** タブを選択し、通知を表示または非表示にするには、**[アクセスリクエスト通知を表示]** を選択します。



サーバー設定を使用が選択されている場合、システム管理者がアクセスリクエスト通知が表示されるかどうかを決定します。

入退室管理の使用

XProtect Smart Clientで入退室管理を使う

このセクションでは、XProtect Smart Clientでの設定方法を決定した後に入退室管理機能をどのように使用するかに焦点を当てています。このセクションの情報は、次のことを説明します。

- ドアのモニター。
- ドアの状態の制御。
- 入退室管理イベントの調査。
- アクセスリクエストへの対応。
- カードホルダー情報の管理。
- スマートマップで入退室管理ユニットを表示します。

ライブモードでの入退室管理の使用

ライブモードで、ビデオの右側にあるイベントリストとともに表示され、入退室管理ソースに関連付けられたカメラのライブビデオを表示できます。

リスト内のイベントのいずれかをクリックすると、ライブビデオが自動的に一時停止し、イベントの個別再生に変更されます。ライブビデオの表示に戻るには、イベントを再度クリックするか、カメラツールバーの**個別再生**アイコンをクリックしてください。

システムとイベントにカードホルダー情報が保持されている場合、選択したイベントのカードホルダー名の横にある検索アイコンをクリックし、**入退室管理**タブにジャンプして、そのカードホルダーに関連付けられたすべてのイベントを表示できます。

マップでドアのモニタリング

組織がモニタリングと入退室管理タスクをサポートするマップ機能を使用する場合は、マップに入退室管理ユニットを追加できます。

1. 設定モードで、**システム概要**ペインを展開します。
2. リストから**マップ**を選択し、ビューアイテムまでドラッグします。
3. マップファイルを探し、**OK**をクリックします。
4. 表示されるマップツールボックスで**[入退室管理を追加]**をクリックします。
5. リストから、ドアなどの関連する入退室管理ユニットをドラッグしてマップに配置し、そのドアを表すアイコンを表示します。
6. **[設定]**をクリックしてライブビューに切り替え、次にドアアイコンを右クリックしてコマンドをトリガーします。

アクセスリクエスト通知のコマンドボタンまたはマップ自体からドアを解除できます。

アクセスを許可すると、ドアのアイコンが緑色に変わり、ドアが開いていることを示します。自動または手動でドアがもう一度ロックされると、ドアアイコンが赤になり、閉じたドアとして表示されます。

各入退室管理ユニットのステータスが常に表示されるため、マップによってモニタリングしているエリアや建物全体のユニットのステータスを迅速に視覚的に把握できます。

入退室管理イベントの調査

入退室管理イベントの検索とフィルター

イベントリストは複数の方法でフィルタリングして、必要なデータのみを表示します。適用したフィルターは、イベントリストを即座に更新します。

1. **入退室管理**タブで**イベント**リストを選択します。
2. リストの上部にあるフィルターのいずれかをクリックして条件を指定するか、リスト内の特定の時間、イベント、ソース、またはカードホルダーを右クリックしてその値を使用してフィルタリングします。


次の基準でフィルターできます。

イベント リスト	説明
日時	<p>特定の期間のデータを表示するには、時間範囲を選択してください。</p> <p>[今日] をクリックすると、今日のイベントのみ表示されます。また、カスタム間隔を使用して特定の期間を指定することもできます。</p> <p>[ライブ更新] を選択すると、新しいイベントがフィルター条件に一致したときに、イベントリストが即座に更新されます。リストは最大100件のイベントを表示します。ライブ更新を実行している場合は、カードホルダーを検索することはできません。</p>
イベント	<p>特定の入退室管理イベント、イベントカテゴリまたは未分類のイベントのリストから、少なくとも1つのイベントタイプを選択します。</p>
ソース	<p>利用可能なソースのリストから1つ以上を直接選択するか、他のソースの中から選択して、そのユニットのイベントのみを表示します。他のソースの例としては、入退室管理システムからのアクセスポイントやコントローラーがあります。</p>
入退室管理システム	<p>XProtectシステムが複数の入退室管理システムと統合されている場合は、イベントを表示する特定の入退室管理システムを選択します。</p>

イベント リスト	説明
ム	
カードホルダー	リストからカードホルダーを選択します。

イベントリストの使用

入退室管理タブでイベントを選択すると、右側に関連するビデオシーケンスのプレビューが表示されます。プレビューウィンドウのタイトルバーには、イベントをトリガーした入退室管理ユニットにリンクされているカメラの名前が表示されます。

- ドアに複数のカメラが関連付けられていると、それらはすべてプレビューに表示されます。
- デフォルトの再生オプションは、ツールバーから利用可能です。
- 関連するカードホルダー情報は、選択したイベントに関する詳細とともにビデオのプレビューの下に表示されます。
-  をクリックすると、サブウィンドウでライブビデオを表示したり、録画ビデオを再生したりできます。

アクセスレポートのエクスポート

ライブ更新モードではない場合には、**入退室管理**タブで、PDFファイルにイベントリストのレポートを作成するかエクスポートできます。

1. レポートで任意のイベントをフィルターまたは検索します。イベント数が多い場合は、検索を絞り込んで結果の数を減らしてください。
2. **[アクセスレポート]** ボタンをクリックし、フィールドに記入します。レポートに含まれる内容：
 - レポート名
 - レポート先
 - 適用されるフィルターのリスト
 - コメントフィールド
 - スナップショットを含めるオプション。
3. **[OK]** をクリックして、レポートが完了するまで待ちます。
4. 右上隅の **[詳細]** をクリックし、表示されたウィンドウで **[開く]** をクリックします。アクセスレポートがPDF形式で開きます。

イベントリストのライブ更新モードの切り替え

ライブモードで入退室管理イベントのライブビデオを表示する代わりに、**入退室管理**タブでライブ更新モードを使用できます。フィルター条件を満たす新しいイベントが発生すると、イベントリストは自動的に更新されます。

1. **入退室管理**タブで**イベント**リストを選択します。
2. フィルターのドロップダウンリストで期間を選択する際に、**[ライブ更新]**を選択します。

検索フィールドの横で、モードが変更されたことを確認します。フィルター条件を満たす新しいイベントが発生すると、イベントリストは自動的に更新されます。ライブ更新モードで操作するときには、カードホルダーを検索できません。アクセスレポートも作成できません。

3. ライブ更新モードから戻すには、新しい時間範囲でフィルターします。

ドアのステータスのモニターと制御

ドアリストには、ドア、各入退室管理システム内のアクセスポイントおよび他の入退室管理ユニット、およびそれらの現在のステータスが表示されます。特定のドアやそれに類似したもののステータスを知る必要がある場合、このリストを使用します。

興味のあるデータを表示するために、いくつかの方法でドアリストをフィルタリングします。適用するフィルターが直ちにリストに反映されます。

1. **入退室管理**タブで**ドア**リストを選択します。
2. リストの最上部で任意のフィルターをクリックし、条件を指定します。
3. フィルターを組み合わせるか、検索フィールドに条件を入力してドアを検索することができます。または、リスト内のドアやステータスを右クリックして、その値を使用してフィルターをかけます。


利用可能なフィルター

ドアのリスト	説明
名前	利用可能なドア、アクセスポイントおよび未分類タイプのうち1つ以上を選択するか、他の入退室管理ユニットのいずれかを選択して、選択したもののステータスのみを表示します。
入退室管理システム	XProtectシステムが複数の入退室管理システムと統合する場合は、ドアを表示する入退室管理システムを選択します。
ステータス	ステータスカテゴリと未分類ステータスのリストから任意の使用可能なステータスを直接選択するか、特定の入退室管理ステータスのいずれかを選択します。

監視エリアのドアのステータスをモニターするもうひとつの方法は、マップにドアを追加することです。[SECTION AND PAGE REFERENCE](#)をご参照ください。

ドアリスト

入退室管理タブの**ドア**リストでドアを選択すると、関連するカメラがスクリーンの右側に詳細情報とライブビデオを表示します。

- ドアに複数のカメラが関連付けられていると、それらはすべてプレビューに表示されます。
- デフォルトの個別再生オプションは、ツールバーから利用できます。
- アクションボタンを使うと、ドアのロック/ロック解除といったドアに関連する特定のコマンドを実行できます。使用可能なコマンドはシステム設定により異なります。
- 選択したドアに関連付けられた情報は、ライブビデオプレビューの下に表示されます。
-  をクリックすると、サブウィンドウでライブビデオを表示したり、録画ビデオを再生したりできます。

カードホルダーの調査

カードホルダーリストには、カードホルダーのリストとその詳細が含まれています。カードホルダーリストは、各インテグレーター入退室管理システムからのデータに基づく場合があります。

カードホルダーリストは、興味のあるデータのみを表示するようにさまざまな方法でフィルタリングできます。適用したフィルターは、リストを即座に更新します。

1. **入退室管理**タブで**カードホルダー**リストを選択します。
2. リストの最上部にある [フィルター] をクリックし、調査したいカードホルダーの入退室管理システムを指定します。一度に操作できる入退室管理システムは、1つのみです。
3. フィルターを組み合わせるか、検索フィールドに条件を入力し、カードホルダーを検索します。あるいは、リストでカードホルダーまたはタイプを右クリックし、値を使用してフィルターを設定します。

利用可能なフィルター

カードホルダーリスト	説明
名前	使用可能なカードホルダーのいずれかを選択し、その人物の詳細情報を表示します。
タイプ	使用可能なカードホルダータイプのいずれかを選択し、このタイプのカードホルダーを一覧表示します。

カードホルダーを選択する場合、この人物の詳細情報が画面の右側に表示されます。カードホルダーの画像と、カードホルダーの記録を管理するためのリンクも表示される場合があります。

アクセスリクエストの処理

アクセスリクエスト通知の操作

組織によっては、アクセスのためにドアを開けるセキュリティ要員が必要かもしれません。そのような場合、アクセスリクエストの通知を受け取る場合があります。


XProtectにおけるアクセスリクエスト通知をトリガーするすべての条件を指定します。通知には、アクセスリクエストに関連するライブビデオが表示されるため、誰がアクセスを要求しているかを確認することができます。

開くべきドアの名前は、例えば、**アクセスリクエスト：フロントドア**など、ヘッドラインとして表示されます。ドアのステータス（例：開、閉または強制開）も表示されます。ドアに複数のカメラが関連付けられていると、それぞれの下に表示されます。

アクセスリクエストの通知は一時的なものです。これを閉じると、この通知はシステムから消去されます。アクセスリクエストの通知が表示されているときにXProtectSmartClientを閉じると、再起動してもこの通知は復元されません。

アクセス リクエスト通知の管理

XProtect Smart Clientが実行中の場合は、他のアプリケーションを使用している場合でも、画面上にアクセスリクエスト通知が表示されます。



- サブウィンドウへのビデオ送信ボタンをクリックして、サブウィンドウでライブビデオを表示します。

アクセスリクエストがアクセスリクエスト通知ウィンドウに重なって表示され、同じウィンドウからすべての受信したアクセスリクエスト通知を処理することができます。画面の反対側または別の接続された画面に通知をドラッグします。

必要に応じて、アクセスリクエスト通知ウィンドウを最小化して、バックグラウンドで続行させることもできます。新しい通知がある場合は、XProtect Smart Clientアイコンがタスクバーで点滅します。

アクセスリクエストへの対応

VMSが双方向音声をサポートし、スピーカーとマイクが、該当カメラに接続されている場合、アクセスリクエスト通知によって、入室を許可する人と会話できます。

- アクセスを要求している人の話を聞くには、 ボタンをクリックします。
- 例えば、エリア内でどう進むか、またはどう行動するかの指示を与えるために、アクセスを要求している人物に話しかけるには、 ボタンをクリックしたまま保持します。

3. 他のアクションを実行するには、マイクとスピーカーボタンの右側のコマンドボタンを使用。最も標準的なアクションは、アクセスを要求する人のためにドアのロックを解除することですが、関連する出入口に近いエリアのライトをオンにすることもあります。



入退室管理システムがこのような情報をXProtectシステムに転送することをサポートしている場合は、カードホルダー情報を確認できます。一般的なカードホルダー情報の例には、カードホルダーのID番号、名前、部署、電話番号、権限レベルなどがあります。システム設定によっては、カードホルダー情報を管理できる場合があります。[SECTION AND PAGE REFERENCE](#)をご参照ください。

スマートマップで入退室管理を使用する

Milestone XProtect VMSのスマートマップには、お客様の組織のロケーションのインタラクティブなリアルタイムビューが表示されます。スマートマップでは、カメラ、アラーム、入退室管理ユニット、その他のデバイスがお客様の組織のロケーションのデジタルマップに表示されるため、容易にインシデントをモニターして応答できるようになります。


以下の目的に対し、入退室管理システムでスマートマップを使用できます：

- お客様のロケーションの高度なオーバービューを取得：スマートマップ上にすべての入退室管理ユニットがマッピングされているので、潜在的な問題をすばやく特定して対応することができます。
- イベントが発生するとドアのアイコンが変わり、アラームがトリガーされるとスマートマップにアラームの正確な位置が表示されます。
- スマートマップ上で入退室管理ユニットを直接操作：入退室管理ユニットの調整、ロックまたはロック解除、アラームの確認、その他のタスクをマップインターフェイス上から直接実行できます。
- セントラルビューでロケーションをモニター：単一のマップで複数のロケーションを管理できます。スマートマップは、さまざまなロケーションでのセキュリティオペレーションを1つのビューにまとめることができるため、作業をより効率よく実行できます。

スマートマップに入退室管理ユニットを追加

入退室管理ユニットの実際の位置を、スマートマップに追加することができます。これにより、監視システムの概要を把握できるようになり、有事の際の対応力も高めることができます。

入退室管理ユニットの地理座標がシステム管理者によってXProtect Management Clientで指定されている場合、入退室管理ユニットはスマートマップ上に自動的に配置されます。そうでない場合は、自分でユニットを正確な地理的位置に配置しなければなりません。

1. スマートマップを含むビューを選択し、**[設定]** をクリックします。
2. スマートマップで、 をクリックして、接続されている入退室管理システムと入退室管理ユニットのリス

トを開きます。

3. 入退室管理ユニットをスマートマップにドラッグします。必要に応じて位置を調整できます。
4. 変更を保存するには、**[設定]** をクリックして設定モードを解除します。

スマートマップで入退室管理ユニットの情報を表示または非表示にする

スマートマップ上では入退室管理ユニットに関する情報を表示または非表示にすることができます。これは、マップ上のコンテンツを増やしたり減らしたりしたい場合などに便利です。

1. 使用したいスマートマップが含まれているビューを選択します。
2. **[レイヤーとカスタムオーバーレイを表示する、または非表示にする]** をクリックします。
3. 入退室管理ユニットの情報を表示または非表示するには、チェックボックスを選択または選択解除します。

スマートマップから入退室管理ユニットを削除

不要なデバイス（物理的に除去されたデバイスや誤って追加されたデバイスなど）は削除できます。デバイスを削除すると、そのデバイスの位置情報（地理座標など）はVMSシステムから削除されます。

入退室管理ユニットを削除するには、XProtectSmartClientで**入退室管理**の権限が有効になっていなければなりません：

- 編集

手順：

1. スマートマップを含むビューを選択し、**[設定]** をクリックします。
2. 単一のデバイスを削除するには、そのデバイスを右クリックして**入退室管理ユニットを削除**をクリックします。

建物に入退室管理ユニットを追加

建物を作成して階を追加した後、入退室管理ユニットを建物に追加できます。デフォルトの階を指定すると、入退室管理ユニットはその階に紐付けられます。指定しない場合、入退室管理ユニットは第1レベルに紐付けられます。階は変更が可能で、建物内のどの階にでも入退室管理ユニットを関連付けることができます。

手順：

1. スマートマップ上で建物まで移動します。必要に応じてズームインします。
2. ワークスペースツールバーで、**セットアップ**を選択します。
3. 建物の階を表示するには、建物をクリックします。
4. 入退室管理ユニットを追加する入退室管理ユニットのレベルを選択します。
5. 入退室管理ユニットを1つ以上のレベルに関連付けるには、ユニットを右クリックし、**レベルに表示される入退室管理ユニット**をクリックして必要なレベルを選択します。
6. もう一度**[設定]**を選択して設定モードを終了し、変更を保存します。

階を選択しなかった場合は、すべての階で入退室管理ユニットが表示されます。

マップ移行ツールを用いたマップからスマートマップへの移行

マップ移行ツールを使用してマップ画像デバイスおよび入退室管理ユニットの位置を既存のマップからスマートマップへ移行します。

前提条件：

- お客様が意図せずスマートマップ上のアイテムを移動してしまう事態を避けるために、マップ移行を開始する前に設定をバックアップすることをお勧めします。
- 新しいスマートマップを設定するには、無料のビューアイテムを使用して少なくとも1つのビューを設定する必要があります。
- XProtect Smart Clientの設定モードにアクセスできる権限が必要です。

マップからスマートマップへアイテムを移行するには：

1. XProtect Smart Clientの上部リボンで設定モードに入ります。
2. スマートマップの左側のツールバーで、**[カスタムオーバーレイの追加またはマップのインポート]** をクリックします。
3. マップ画像を追加したいスマートマップの位置にマウスカーソルを合わせ、その場所をクリックします。
4. **カスタムオーバーレイの追加** ウィンドウで、以下を指定します
 - （オプション）マップ画像に名前を付けます。マップオーバーレイの名前を入力しなかった場合、マップには自動的にマップオーバーレイのファイル名と同じ名前が付与されます。
 - オーバーレイタイプとして**Maps**を選択し、ドロップダウンリストから追加するマップを選択します。
5. 情報メッセージを確認します。システム設定が既にバックアップされているか確認してください。
6. インポートしたマップオーバーレイを地理的に正しいコンテキストでスマートマップに配置します。マップオーバーレイのサイズを変更したり、移動・回転させたりして、スマートマップの適正な位置に合うように、あるいはビルのレイアウトに合うように調整できます。

マップオーバーレイのサイズや位置が満足できるものになった後、変更を保存します。
7. マップにデバイスまたは入退室管理ユニットが含まれている場合は、画像マップのみを移行するか、すべてのアイテムを移行するかを選択します。
8. すべてのアイテムのインポートを選択し、一部のアイテムがスマートマップにすでに追加されている場合は、位置を変更する必要があります。現在の位置を保持するか、変更するかを選択します。

選択を終えると、Windowsデスクトップ通知によりアイテムを追加したことを確認する通知が表示されます。

各マップ画像に対してこの手順を繰り返し、スマートマップに追加します。スマートマップ上の既存のアイテムをアップデートする場合など、必要に応じて、同一のマップ画像をスマートマップに再度追加できます。



helpfeedback@milestone.dk

Milestone について

Milestone Systems はオープンプラットフォームのビデオ管理ソフトウェア（VMS）の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供しています。Milestone Systems は、世界の 15 万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成しています。Milestone Systems は、1998 年創業、Canon Group 傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

